

学生たちの“夢”が動き出す

県内の中・高・大学生たち7組の新会社設立をメンターがサポート!

第10回
とちぎ
アントレプレナー
コンテスト
受賞者発表



次代を担う若者から起業プランを公募する「第10回とちぎアントレプレナー・コンテスト」の最終選考会と結果発表・表彰式が2023年3月11日、下野新聞社本社で開催されました。

県内外の高校、大学、専門学校などから116件のエントリーがあり、12組が最終プレゼンテーションを行いました。

結果発表・表彰式では、最優秀賞3組(新会社開業資金20万円)、優秀賞4組(同10万円)が選ばれ、それぞれをメンターがサポート、7組の学生が育成プラン(2023年度実施)をもとに新会社設立を目指します。

[企画制作:下野新聞社営業局]
※第10回受賞者の在籍校と学年は3月11日現在です。

●メンター(審査員)のご紹介



■コンテストの概要 Tentre2022

「第10回とちぎアントレプレナー・コンテスト」は、県内の生徒・学生を対象に「未来の社長への道」を開く実践的起業家育成教育プログラムとして実施されました。

※本籍地もしくは保護者の居住地が栃木県内ならば県外の短大、大学等に在籍する栃木県出身者の応募を認めています。

■コンテストの流れ

- ①エントリー受付 (2022年9月2日～10月13日) →エントリー総数116件(計21校)
- ②1次選考 (10月28日) (エントリーシート審査) →起業プラン50件を選出 →セミナー開催
- ③2次選考 (2023年1月11日) (ビジネスコンセプトシート審査) →ファイナリスト12組を選出 →セミナー開催
- ④最終選考会&結果発表・表彰式 (3月11日) ※一般公開 →事業計画書・プレゼンテーション審査 最優秀賞ほか、各賞発表・表彰

●エントリー校

- 宇都宮高校
- 宇都宮中央高校
- 宇都宮白楊高校
- 宇都宮商業高校
- 作新学院高校
- 宇都宮文星女子高校
- 宇都宮短大附属高校
- 宇都宮海星女子学院高校
- 鹿沼高校
- 栃木女子高校
- 佐野高校
- 真岡高校
- 茂木高校
- 矢板東高校
- 黒磯高校
- 宇都宮大学
- 作新学院大学
- 白鷺大学
- 岡山大学
- ビジネスブレックス大学
- 宇都宮大学附属中学校 (計21校) ※順不同

最優秀賞 (3組)

●賞状 ●新会社開業資金20万円+育成プラン(2023年度) ★新会社設立メンター【最前線で活躍する経営者が受賞者をサポート】

チャットGPTを使ったアシスタントチャットボット All NFT 株式会社

代表 飯泉 一馬(宇都宮大学修士1年)

AI技術によって人間のように自然な会話ができるチャットGPTに、例えばラインのコメントやメールなど会社の情報を学習させ、誰よりも自社に詳しいアシスタントチャットボットを構築するサービスです。会社に関する情報について、このAIアシスタントに聞けば何でも答えてくれます。社員への説明や資料を探す手間も省け、仕事の効率化、コスト削減につながる便利な機能です。



★(株)アオキシンテック 代表取締役 青木圭太氏
★(株)悟空のきもち THE LABO 代表取締役 永野弘樹氏

後継者がいない酪農家と就農希望者の橋渡し うっししい 株式会社

代表 椎名 虎也(黒磯高校2年)

後継者がいない酪農家と就農希望者をマッチングすることで酪農家の減少を抑えることを目指します。酪農家には就農希望者の情報を、就農希望者には酪農家の土地情報や経営のノウハウを紹介し、インターンシップの導入や空き家を就農者に提供することも検討します。酪農の魅力発信し就農希望者と酪農家の橋渡しをすることで農業分野から地域社会の問題を解決します。



★(株)山上建設 代表取締役 山上卓也氏
★知多半島未来創造(株) 代表取締役 伊藤大輔氏

様々なマナーを楽しく学ぶ KKSS/代表 中谷 理恩(宇都宮商業高校3年)

グループメンバー: 石川 未麗、大須賀 まなみ、黒崎 こころ(同)

「楽しい」から「正しいマナー」と「新しい気づき」を、という経営理念を掲げ、社会に出て必要となるマナーを楽しく、わかりやすく学べるサービスを提供します。安価で手軽に遊ぶことができるゲームに焦点を当て、マナーを学べるシミュレーションゲームを作成。将来的には冠婚葬祭、ビジネスマナー、テーブルマナー編など様々なバージョンを提供したいと考えています。



★(株)モンキークルージュジャパン 代表取締役 高山直樹氏
★(株)JSSホールディングス 代表取締役 寺島立博氏

優秀賞 (4組)

●賞状 ●新会社開業資金10万円+育成プラン(2023年度) ★新会社設立メンター【最前線で活躍する経営者が受賞者をサポート】

世界中の学生がオンラインで言語交換 constellations/代表 伊藤 亜紗(宇都宮海星女子学院高校2年)

グループメンバー: 桑川 夢叶、伊藤 心(同)、別井 あさひ、細島 妃真璃(同1年)

世界中の学生たちが自国にながらオンラインで言語、文化交換ができるコミュニティを提供します。ネイティブスピーカー同士が互いに言語を話し学び合います。言語だけでなく文化も共有。自国との相違点に気がつくことで、その国に対する興味や関心が出て、さらに言語学習に意欲的に取り組むことができます。



★住まいるネットワーク(株) 代表取締役 海老沼康秀氏

高校生とお年寄りをつなぐバイトアプリ Interact 株式会社

代表 前原 音竹(宇都宮短大附属高校1年)

学業との両立で時間的な余裕がない高校生に効率の良い仕事と収入を、困りごとのあるお年寄りには手軽なサービスと人との交流を提供するため、高校生とお年寄りを仲介するアルバイトアプリを開発します。少子高齢化による人手不足、若者の社会性育成、地域コミュニティの発展など社会問題の解決に貢献します。



★(株)PRIDE 代表取締役会長 白石崇氏

夜景スポットを生かしたまちづくり NV+1/代表 安野 巧真(作新学院大学4年)

グループメンバー: 山内 祥輝(同3年)

県内の夜景スポットをロマンチックな場所に、様々な世代が楽しめる憩いの空間を創出します。雰囲気を生かしたお店の設置やイベントの開催、夜景が見やすい草刈りや木々の伐採を行い、まち自慢の名所にします。夜景スポットをまちづくりに融合させてボランティアでは継続が難しい活動を事業化します。



★YUM innovation合同会社 代表社員/CEO 義達祐未氏

地方大学の魅力を高め地方の活性化につなぐ イグノーベル 株式会社

代表 岩佐 葵(宇都宮大学附属中学校1年)

地方大学の魅力を高めた企業との橋渡しをします。学生や研究者の情報をデータベース化し、そこに企業にアクセスしてもらいます。自社からも情報を伝えます。特徴的なのはイグノーベル賞に値する研究を発掘し企業に紹介すること。従来では発想し得ない研究、専門外の研究から新たな価値を生み出す機会を提供します。



★(株)エンターテイン 代表取締役 常川朋之氏

奨励賞 (5組)

●賞状

海なし県に水族館のような空間を 118 株式会社

代表 高坂 瑞季(宇都宮短大附属高校1年)

プロジェクションマッピングで魚を投影して水族館のような空間を作り出します。説明の音声と映像と同時に流し、楽しみながら海の生き物に興味を持ってもらえます。海なし県にふれることができますし、主に絶滅危惧種の魚を投影することで海の豊かさを学ぶというSDGsに結びつけて考えることもできます。



ヤングケアラーを支える Both of Care/代表 松本 祥太(矢板東高校1年)

グループメンバー: 絵面 凱、伴 和奏、新部 華永(同)

ヤングケアラーの支援を行います。当事者に必要なものを調査し一人一人に合ったサービスを提供します。介護用品会社と共同商品を開発、被介護者と話ができるAIロボットを提案します。またケアラーの認知度を高め様々な支援につなげます。将来的には学校などでの講演会開催や相談窓口の開設を目指します。



生物農薬を使った家庭菜園作りを応援 BASM 株式会社

代表 飯塚 詩花(栃木女子高校1年)

化学農薬を使わず、アブラムシを食べる天敵のテントウムシを利用する生物農薬を使った家庭菜園作りを応援します。就農者の高齢化や後継者不足から農業を辞めていく人を見かけ、労力を減らし同時に環境を保護する事業を考えました。高齢者や子どもに安全な物を食べさせたい方のお手伝いをする会社です。



AI技術を活用し睡眠をサポート SLEEP HELP 株式会社

代表 高橋 真麻(宇都宮白楊高校1年)

睡眠の質の低下に不満を持つ人を減らすため、睡眠の手助けをします。SLEEP HELPのサイトにアクセスしてもらい、希望するサービスを提供します。サービス内容は動物型AIロボットや香り袋、枕などの提供です。AIなどの技術を活用し誰もが質の高い生活を送ることができる社会を実現させていきたいです。



勉強やリモートワークができる場を提供 Study and Job 株式会社

代表 藤貫 有咲(宇都宮海星女子学院高校1年)

学校が家から遠い学生や塾に通っていない学生が放課後や休日に集中して勉強できる場所、コロナ禍でリモートワークとなった人に仕事をする場所を提供します。駅の近くや学校が多く集まる場所の空き店舗を利用します。SNSなどで宣伝し、時間の管理はタブレットで行うなどIT化することで経費を抑制します。



実行委員長あいさつ

例え起業に失敗したからといって人生が失敗したわけではなく、貴重な経験値になります。保護者の皆さんはお子さんの背中を押してあげる、支援する仲間になっていただきたい。最終選考に残った皆さんは同期のメンバーとも懇親を深めて、起業に向けて頑張ってください。



実行委員長 青木 圭太氏
(株式会社アオキシンテック 代表取締役 CEO)

審査総評

過去最高レベルの高い発表だったと思います。プレゼンの練習をしっかりと本番に臨まれていたし、自分の体験に基づいたオリジナルアイデアの種を持って起業の発表をできたことが良かったと思います。リモートの参加も起業の思いを十分に伝えられたと感じました。



審査委員長 常川 朋之氏
(株式会社エンターテイン 代表取締役 CEO)

とちぎアントレ 公式WEB

とちぎアントレ 検索
http://www.tentre.com/



LINE@ とちぎアントレの最新情報をGET!
@Tentre

